

釜石市立小佐野公民館 事業実施報告

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

公民館は、地域住民のために社会教育を推進する拠点であり、住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献する施設です。

生涯を通じて学ぶことで、充実した生きがいのある人生を送ることができ、人間性ゆたかな地域社会の構築につながることから、地域住民の主体的な生涯学習活動を推進するために「いつでも、誰でも、どこでも」自由に学習機会を選択でき学ぶことができる学びを推進します。

小佐野公民館は、地域コミュニケーションの核として、また情報発信基地として、各種団体等との連携を図りながら、生涯学習の推進と地域課題の解決に向けて、積極的に取り組んでいきます。

また、誰もが生きがいを持って安心して暮らせる地域包括ケアのまちづくりを進めるため、被災者や子ども、高齢者など様々な立場にある人同士の地域交流を大切にし、地域住民が主体的に取り組む活動を支援してまいります。

新型コロナウイルス感染症予防に配慮した事業運営に努め、利用者の安心・安全に繋げます。

2. 重点目標

- (1) 地域住民に親しまれ、気軽に立ち寄ることができ、地域住民に役立つ公民館の運営に努めます。
- (2) 一生涯の学びを提供するため、各年代の学習ニーズの把握に努め、学習の機会と場の提供に努めます。
- (3) 土曜日や長期休暇を利用し、子ども達が公民館活動に積極的に参加できる事業を実施するとともに、小・中学校、学童育成クラブやP.T.A等と連携協力してまいります。
- (4) 地域の自主活動グループ等に活動の場を提供するなど、主体的な学びに対して支援を行います。
- (5) 諸事業を推進するに当たり、関係機関・団体等との相互連携・協力関係を密にし、効果的な運営を心がけます。
- (6) 高齢者が学びを通じ、生きがいを持って地域とのつながりを持ち��けていくことできるよう支援します。
- (7) 利用者の協力を得ながら、新しい生活様式を取り入れ、安心して活動できるよう感染症予防に努めます。

II 事業報告

1. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの子育てへの支援	小佐野寺子屋事業	長期休暇中の子どもの居場所の提供、体験・学習活動を行い子育て支援を図る。	<p>① 子ども将棋教室[めざせ！竜王]</p> <p>[時期] 長期休暇（冬・春休み） 各3～4日間（午前のみ）</p> <p>※冬休み分は1/6、10、13に実施済</p> <p>[場所] 小佐野公民館</p> <p>[対象] 管内小・中学生 ※冬休み 10人（延べ28人）</p> <p>※8名の定員に対し、10名の申込有</p> <p>[内容] 小佐野公民館自主活動グループ「正棋会」の協力を得て、将棋教室を開催</p> <p>[実施状況]</p> <p>※春休みは3/24, 28で予定</p> <p>※周知は公民館だより、小学校へのチラシ配布</p>
【成果と課題】			
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナに配慮しながらの開催となった。春休み期間中も開催予定。 参加した児童は、昨年度に引き続きの申込者が多く見受けられ、将棋はもちろんのこと、所作、礼儀についても真剣に指導を受けていた。 長期休暇中の子どもの居場所の提供等、子育て支援を図るとともに、高齢者との世代間交流の場、高齢者の生きがいづくりにつながる事業である。 小山玲央くんの偉業も今後、事業を行う中で話題になると思う。（実家は定内町） 			
小佐野キッズクラブ		さまざまなことを体験し、考え方を機会を創出することにより、子どもの好奇心を高め、思考力、創造力、行動力を伸ばす。	<p>[時期] 7月～1月 2回 土曜日、長期休暇期間中</p> <p>※10月1日（土）に実施済み</p> <p>※今年度は1回で終了</p> <p>[場所] 小佐野公民館など</p> <p>※参加者 6名</p> <p>[対象] 市内小学生</p> <p>[内容・実施状況]</p> <p>※「楽しく学ぶサバイバル」</p> <p>※小学校へのチラシ配布</p>
【成果と課題】			
<ul style="list-style-type: none"> ボイスカウト釜石第2団の指導のもと、災害時における知識・技術・心構えや、ゲーム等を通して気持ちをあわせて協力し合うことの大切さも学んでいた。 コロナ禍、他の行事等と日程が重なったこともあり、参加した児童は少なかったことから、実施日程など考慮して実施することが必要である。 講座内容、地域資源の活用や世代間交流の場を創出するような事業を検討していくこととしたい。 			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの子育てへの支援	釜石中学校総合文化部コラボ事業	学業やクラブ活動などで他事業に参加できない生徒に対し、さまざまなことを体験し考え、学ぶ機会を創出することにより、生徒の思考力、創造力、行動力を伸ばす。	<p>〔時期〕10月～12月 木曜日（基本）、長期休暇期間中</p> <p>〔場所〕釜石中学校など</p> <p>〔対象〕釜石中学校総合文化部部員</p> <p>〔内容・実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染防止のため中止とした。
【成果と課題】			<ul style="list-style-type: none"> ・例年、各種講座の開催やボランティア活動を行っているが、新型コロナ感染防止のため中止とした。 ・来年度以降も釜石中学校と連携し、さまざまなことを体験し、考え、学ぶ機会の創出を図りたい。

2. 成人期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
健康づくり	スポーツ交流会	スポーツを通じて小佐野管内住民が交流しながら、自らの健康意識の向上やリフレッシュを図る。	<p>① 西地区合同ウォーキング交流会 〔時期〕5/12、17、24、6/14に実施済 〔場所〕大橋駅前から釜石駅前まで 〔対象〕地域住民（西地区） ※小佐野地区参加者7名（延べ25回） 〔内容〕大橋駅前から釜石駅前までを4区間に分けて4日間で走破した。</p> <p>② 西地区合同日向ダム見学交流会 〔時期〕8月26日実施済 〔場所〕日向ダム 〔対象〕地域住民（西地区） ※小佐野地区参加者 6名 ※天候により夏休中の実施予定が変更となつたため、小学生が参加出来なかつた。 〔内容〕日向ダムは、一部の方には知られているものの、まだまだ知られていないことから普段見ることのないダムの管理棟内やダム堤体内部見ることが出来た。</p> <p>③ 西地区合同ソフトボール交流会 〔時期〕9月15日に実施済み 〔場所〕大天場運動広場 〔対象〕地域住民（西地区）</p>

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			<p>※小佐野地区参加者 17名 〔内容〕甲子・小佐野・中妻で活発に活動しているソフトボールで交流会を開催した。</p> <p>④ 西地区合同スポーツ交流会 〔時期〕10月14日実施済 〔場所〕釜石市球技場 〔対象〕地域住民 ※小佐野地区参加者 17名 〔内容・実施状況〕 ※グランドゴルフ・スカットボール・ ボッチャ 3種目実施 ※スポーツ推進課（スポーツ推進員）、 まちづくり課の協力を得て実施できた。</p> <p>⑤ 西地区合同干し柿づくり体験交流会 〔時期〕10月26日に実施済 〔場所〕甲子林業センター 〔対象〕地域住民 ※小佐野地区参加者 14名 〔内容・実施状況〕 ※季節の風物詩である干し柿作りの体験会を実施した。 ※吊るしきれなかった柿を含め持ち帰り分はあっという間になくなる盛況ぶりであった。</p>
【成果と課題】			
<ul style="list-style-type: none"> ・3地区公民館（甲子・小佐野・中妻）合同で開催。 ・ニューススポーツ等を通じて地域住民の良好な関係づくり、交流の場となった。 ・来年度以降も開催し区域を越えた交流の場、健康づくりの場の創出を図りたい。 ・参加者が偏ってしまう傾向があり、幅広い参加者の掘り起こしが必要である。 			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	健康教室	地域や世代を超えた交流の場を創出し、住民主体の活動へつなげると共に健康意識の向上、増進を図る	<p>はまゆり健康づくり教室 ［時期］4月から毎月1～2回 ［場所］小佐野公民館 3階大ホール ［対象］地域住民 ［内容・実施状況］ ストレッチ体操、ニュースポーツ等 講師/スポーツ推進員 佐藤千依 4/25・22名、5/23・25名、 6/13・19名、6/27・17名、 7/11・17名、8/22・13名、 9/26・17名、10/24・18名、 11/14・12名、11/28・12名、 12/12・12名、12/26・13名、 1/23・14名、2/13・15名、 2/27、3/13、3/27</p>
【成果と課題】			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響もあり、参加者は例年より少ないが、検温、換気、マスク着用、消毒、三密回避等、感染予防対策のうえ実施している。 ・5/9、9/12は、感染状況を鑑み、中止した。 ・地域や世代を超えた交流機会を創出し、健康づくりの継続と主体的活動へのきっかけとすることを目指して取り組んでいるものである。 ・今後、参加者同士が交流を深め自主的に活動するグループへと発展することが課題。
	健康講座	健康や疾患等正しい知識を得るとともに行動変容への意識向上を図る。	<p>〔対象〕地域住民 〔内容・実施状況〕 自主活動グループ等の支援 参照</p>
【成果と課題】			<p>既存の自主活動グループを対象に各集会所で健康講座(脳卒中対策、糖尿病対策、熱中症対策、心のセミナー等)を実施した。次年度は、対象者・団体を限定せず広く募った教室も開催したい。また、働き世代へアプローチする機会がなかったが、健康推進課として企業訪問する際に、公民館によりに健康アドバイスを掲載していることも周知したい。</p>

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	健康相談事業	心身の状態を知る機会とし、健康意識の向上、増進を図る。	個別健康相談会 〔時期〕随時（予約制） 〔場所〕小佐野公民館 〔対象〕地域住民 〔内容・実施状況〕 健康についての相談、生活習慣指導等
【成果と課題】			
子育て世代については乳幼児健診や子育て支援センターを通じて相談先として周知されたり、高齢者は相談先として浸透しているが、成人期には相談先として認知されているかは不明。こころの相談会(健康推進課主催)を公民館たよりで周知したところ、小佐野地区から数件申し込みがあったことから、公民館たよりで健康相談先であることを継続して発信していきたい。			
男女共同参画の推進	男の料理教室	男性も調理実習に参加することで、参加者同士で交流を図り、閉じこもり予防と自らの健康保持・心身のリフレッシュを図る。	小川メンズグルメ会 〔時期〕年5回活動支援 〔場所〕小川集会所 〔対象〕住民 会員8人（2月現在） 〔内容・実施状況〕 調理実習、栄養・健康講話(血圧、減塩) 7/26、9/13、11/15、1/17、 3/7(予定)
【成果と課題】			
コロナ流行後、活動を一時休止し解散も検討していた。今年度、会員を継続を決めた3名と新規会員5名を迎える再始動した。既存会員が中心となり、実施している。小川地区に限らず、参加者を募集していくこととする。			
芸術文化活動の推進	教養講座	音楽の世界に触れることにより、生きがいや教養を身につける。	音楽の力による復興コンサート 〔時期〕9月・2月 各1回 〔場所〕小佐野公民館 〔対象〕地域住民 〔内容〕（公財）「音楽の力による復興センター・東北」による、ピアノとうたのコンサート ※1回目9/7に実施 21人鑑賞 ※2回目2/16に実施 22人鑑賞
【成果と課題】			
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響が心配されたが、予定どおり2回開催出来た。 ・コロナ感染予防対策の観点から、参加（観覧）者を制限して開催した。 ・参加者からは大変好評で、継続開催を望む声が多数ある。 ・（公財）「音楽の力による復興センター・東北」が「令和4年度岩手県被災者の参画による心の復興事業」による補助を受けて市内各所で開催しており、来年度以 			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
降の開催可否については未定。			
芸術文化活動の推進	市民講座	学び、体験、交流の場をつくり、学び得た知識や体験を日々の生活や地域活動に活かす。	童謡・唱歌を楽しむ会 〔時期〕11月～3月 2回 〔場所〕小佐野公民館 〔対象〕地域住民 〔内容・実施状況〕 四季のうたを歌う ・新型コロナ感染防止のため中止とした。
【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> 熱心な参加者が多く、参加者同士の交流の場になっていて、交流を深めながら楽しく歌って有意義な時間を過ごす場となっているが、新型コロナ感染防止のため中止とした。 			

3. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
交流の場の創出	小佐野ふれあいデー (小佐野小学校PTAとの共催事業)	子ども・親・学校・地域・公民館の連携により、地域の教育力向上に向けた取組みを行う。	新型コロナウイルスの影響により中止
【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き中止。 開催時には、毎回、公民館の自主活動グループである「正棋会」に参加いただき「将棋体験コーナー」を開設し、好評をいただいている。今後は他の活動団体の協力も含め内容の検討を行ないつつ、引き続き子供達と地域の交流機会の創出に努めたい。 			
	小佐野公民館まつり	活動成果の発表により交流を深め、今後一層の活動意欲の向上を図るとともに生涯学習の振興に資する。	新型コロナウイルスの影響により中止
【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き中止。 開催にあたり新型コロナウイルスの感染拡大防止策として飛沫感染や接触感染のリスクを伴う活動を制限することで参加団体が限定され、公正な開催が困難となる。 県内感染者が確認されており収束が見通せない状況の中、不特定多数の方が参加(一昨年度参加者約350人)する公民館まつりを開催することで、参加者の感染リスクが高まる。 来年度については、参加団体の意向も踏まえ安心して多くの方に参加していただけるよう状況に応じた内容での開催を検討したい。 			

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
社会参加の促進	自主活動グループ等の支援	地区住民・自主活動グループなどの要請に応じ、センター職員を健康教育等の目的で派遣し運営の支援を行う。	<p>① ひまわり会 [時期] 年4回 [場所] ひまわり集会所 [対象] 地域団体 [内容・実施状況] 健康講座：認知症予防、熱中症予防、糖尿病予防、レクリエーションなど 4/19 (14人)、7/12 (11人)、12/20 (12人)、3/14 (人)</p> <p>② 向定内ヘルシー教室 [時期] 年4回 [場所] ひまわり集会所 [対象] 地域住民 [内容・実施状況] 調理実習、健康講座：食中毒予防、脳卒中予防(血圧、減塩)など 5/26 (10人)、7/21 (9人)、9/1 (9人)、11/24 (9人)</p> <p>③ 菜の花会 [時期] 年2回 [場所] 中小川集会所 [対象] 地域団体 [内容・実施状況] 5/10 (11人)：お薬について 9/27(10人)：栄養について 11/22(11人)：糖尿病・高血圧予防</p> <p>④ 小川ふれあいクラブ [時期] 年2回 [場所] 小川集会所 [対象] 地域住民 [内容・実施状況] 6/9 (11人)：骨粗しょう症、特定健診のお知らせ 2/9 (10人)：脳卒中対策について</p> <p>⑤ 暖チーズサロン [時期] 年1回</p>

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			<p>〔場所〕 野田団地小佐野公民館分館 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 2/17 (26人)：健康寿命延伸に向けて (健診・検診、血圧、減塩など)</p>
【成果と課題】			<p>各地区住民が会の運営を行っており、自主的に企画し交流の機会となっている。依頼に応じて、年に数回の健康講座を実施している。同様の団体が対象ではあるが、健康意識を維持・向上していただく機会とし、次年度も継続して支援する。</p>

4. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
社会教育施設等の充実	施設の貸館	地域の学び、考え、行動する拠点として公民館施設を活用する。	<p>自主活動グループ、一般団体に対して、活動の場として施設ホール等の貸し出しを行う。</p> <p>〔時期〕 通年 〔場所〕 小佐野コミュニティ会館 〔対象〕 一般団体・市民 〔内容・実施状況〕 <u>利用人数 12,018人 (R5.1.31 現在)</u> <u>前年同期比 +1,262人</u></p>
【成果と課題】			<ul style="list-style-type: none"> 各グループの参加者は高齢化が進んでおり、階段の昇降が大変だと訴える方も多く、施設整備や活動継続のための後継者の確保が課題。 <p><u>◎新型コロナウイルス感染拡大による会館利用について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 密回避など感染対策の徹底を各団体に要請し貸館実施
施設の維持管理	安全・快適な利用環境を整える。		<p>清掃業務・消防機器点検等の各種委託業務を実施。</p> <p>時間外・休日等の施設業務は小佐野町内会に委託する。</p>
【成果と課題】			<ul style="list-style-type: none"> 利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう点検や修繕を行なったほか、小佐野町内会と連携しながら会館の管理運営を行なった。 年々施設の老朽化が進んでおり、設備の故障や雨漏りが発生していることから設備の維持管理が課題。 利用者が安心して利用できるよう、管内設備の消毒や換気等感染症予防対策に力を入れて取り組んだ。

6. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館における各種事業の企画及び実施につき調査審査を行う。	<p>〔時期〕年2回、5/27・2/28 〔場所〕小佐野公民館 〔対象〕審議会委員 〔内容〕 委員による公民館運営等の審議</p>
【成果と課題】			公民館の適切な運営を維持するため、運営方針及び事業計画について審議した。
生涯学習ネットワークの形成	「公民館だより」の発行	学び・健康・地域づくりをテーマとした学習機会と場を提供し、以て住民の生涯学習意欲を引き出す。	<p>公民館事業、その他地域の情報をPRするため、「小佐野公民館だより」を発行する。</p> <p>〔時期〕毎月1回1日発行 〔対象〕地域住民・小佐野小学校生徒等 〔内容・実施状況〕 イベント周知・結果報告、保健事業等の情報、地域の話題など約1,700部（現在は、約4,000部）発行</p>
【成果と課題】			<ul style="list-style-type: none"> ・今まで、全戸配布されなかった公民館だよりを、令和4年1月1日号から約9割全戸配布にした。（一部協力できない旨の申し出があり、今まで通り回覧で対応） ・小中学校配布分は、メールで送るなど簡素化にご協力頂いた。 ・<u>引き続き、高齢会議福祉課地域包括支援センターのコーナーを設け、権利擁護や終活、成年後見人制度について分かりやすく掲載した。（保健師コーナーは継続中）</u> ・令和5年1月1日号は、A4からA3にして、新年特別号『菊池流帆選手特集』を作成し、釜石市小佐野小学校出身の現役JリーガーをPRした。その後、広報かまいまし、多くのテレビ局で紹介するなど先駆けとなる公民館だよりとなった。